

## 連携先世界遺産：賀茂別雷神社（上賀茂神社）

### 水をキーワードにした「賀茂の水まつり」の活性化

上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する。

#### ■受講生

泉 龍之助(京都産業大学・経済学部・1回生)

木下 青空(京都産業大学・経済学部・1回生)

永田 来幸(京都産業大学・現代社会学部・1回生)

平井 祐亮(京都産業大学・現代社会学部・1回生)

松岡 侑実(京都産業大学・文化学部・1回生)

佐藤 浩一(龍谷大学・経済学部・2回生)

横見 純一(京都産業大学・経済学部・3回生)

#### ■担当教員

吉野 秋二(京都産業大学・文化学部・教授)

若松 正志(京都産業大学・文化学部・教授)

#### 活動目的・概要

賀茂別雷神社(上賀茂神社)から私たちに提示された課題は、「上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する」でした。その中で私たちは「賀茂の水まつり」を通し、様々な活動を行いました。

毎年恒例の活動として、子供向けゲーム、大学サークル・団体を招いたパフォーマンスの企画・準備を行いました。また、広報活動としてポスター・チラシ制作、ラジオ出演、SNSでの発信等も行いました。今年度の受講生は7名で下級生が大半だったのですが、だからこそできる柔軟でフレッシュな考え方を大切にしました。子供向けゲームの運営は、例年通り、京都産業大学ボランティアNONTsと協力して実施しました。

今年の「賀茂の水まつり」では、ダイドードリンコ株式会社・京都府健康福祉部とNONTsにより「学生と地域のお子様との工作自販機製作」も開かれ、新たな層の呼び込みや、企画の幅の広がりにつながりました。

苦労も多かったのですが、地域の人たちに上賀茂神社をさらに身近に感じてもらうとともに、私たち自身も「つながる」よろこびを実感しました。



ミニゲーム制作



神輿担ぎに参加



広報活動

#### ◆主な活動

2024.4.28 ガイダンス、上賀茂神社訪問

2024.5.19 ミーティング、企画立案

2024.6.1 企画書案作成、招聘団体立案

2024.6.15 役割分担、企画・招聘団体決定

2024.6.29 全体ミーティング、広報打ち合わせ

2024.7.16 全体ミーティング②

2024.7.25 機材運搬

2024.7.26 FM京都「CHUMMYTRAIN」出演

2024.7.27 前日準備

2024.7.28 水まつり当日

2024.7.29 機材返却

2024.11.9 活動報告書編集

2024.11.30 最終成果報告会準備

2024.12.8 最終成果発表会

## 活動の成果

### ポスター・チラシ作り

上賀茂神社についてもっと知ってもらいたい、まず来ていただくことが大切、と思い、ポスター・チラシを手作りしました。チラシには右下に引換券をつけました。



### スタンプラリー

子供向けゲームの場所などにスタンプ台を設置し、スタンプラリーを実施しました。ラリーを達成した68人には、ダイドードリンク株式会社提供の飲料などを差し上げました。

### 紙飛行機

紙飛行機選手権を実施しました。子供だけでなく、年配の方やカップルなどへの参加もありました。紙飛行機の折り方を教えることは控え、自分で考えて作り上げて、達成感を感じてもらえるようにしました。



### 水射的

「水」にまつわるゲームとして水射的を実施しました。子供たちだけでなく、保護者や私たちも一緒に楽しむことができました。

### フォトスペース

子供たちに神社や地域の行事に興味を持って欲しいという願いをこめフォトスペースを設置しました。「京都府子育て環境日本一推進会議」が推進している「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」の「泣いてもかましまへん！」というメッセージを掲げました。



### 外部団体パフォーマンス

例年通り大学の部活動・サークルなどの力を借り、一緒に水まつりを盛り上げることができました。よさこいサークルやハンドアリング・落語サークルには、幅広い年齢の方々が釘付けになる圧巻のパフォーマンスを披露していただきました。子供たちと一緒にダブルタッチを楽しむ企画も実施しました。

## 活動を振り返って

本年度は、多数の縁日企画、京炎そでふれ！咲産華よさこい・落語長屋・バトントワリング Florasionの3団体によるパフォーマンスを実施することができ、充実した「水まつり」になりました。当日は、子どもたちを中心に多くの方にお祭りを楽しんでもらうことができ、無事に祭りを成功させることができました。

成功の要因は、受講生が「上賀茂神社の魅力を楽しんでもらいながら伝える」という共通認識を持った上で準備を行えた点にあると思います。上賀茂神社の魅力である「水」にまつわる縁日イベントを複数提案し、実行することができました。特に、スタンプラリーは、上賀茂神社を一周できるような仕組みにし、比較的人が少ないエリアにも人流を作ることができました。

縁日の企画は、上賀茂神社や水との関係を意識し、楽しみながら上賀茂神社の魅力がより一層伝わるように心がけました。また上賀茂神社の広大な敷地や風情を生かしより多くの人に楽しんでもらえるように尽力しました。

反省点は、多くの企画を実施するにあたり、情報共有があまりできておらず、全体のまとまりがなかったことです。本番が近づくにつれまとまりは取れてきましたが、各チームの進捗状況についてもっと早く把握できているともう少し余裕を持って準備に取り掛かれたと思います。また、授業時間外での時間を確保できず、直前に大詰めになった部分もありました。進捗報告をこまめに行い遅れているメンバーがいれば、周りとの協力して助け合うべきでした。来年度の受講生には、これらの反省点を生かしていただければと期待しています。

「水まつり」を通して、多世代の方々とコミュニケーションをとることができ、周辺地域の活性化につながられました。私たちにとっても、歴史ある上賀茂神社で祭りを行えたことは、非常に貴重な経験でした。このような祭りは後継者不足が問題となってきますが、授業を通してこれらの問題も解決できるのでとても良い授業を受講できたと思います。

最後になりますが、上賀茂神社の皆さま、このような素晴らしい経験をさせていただいた全ての関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

## 担当教員からのコメント

我々は、世界遺産PBL発足以来、「上賀茂神社の魅力を学生の視点で発信する」というテーマの下で「賀茂の水まつり」の企画・運営に継続して取り組んでいます。授業運営にあたり、格別のご配慮を頂戴した賀茂別雷神社(上賀茂神社)様に心から御礼申し上げます。また、大学コンソーシアム京都様にもご助力いただきました。ありがとうございました。

「水まつり」の運営には、京都産業大学ボランティアサークルNONTsも関わっています。一昨年度まではコロナの影響で制約が大きかったのですが、昨年度からはそうした制約もなくなりました。本年度は、ダイドードリンコ株式会社様、京都府健康福祉部子ども・子育て総合支援室様にも参加・ご協力いただき、一層充実した形で開催することができました。小さなトラブルはありましたが、教員としてもグループワークの意義を再認識させられました。

受講生の皆さんには、「学生の視点」から、何ができたのか、できなかったのか、しっかりと見直し、今後の人生の糧にして頂ければと希望しています。

来年度も上賀茂神社で新たな出会いが積み重ねられることを願っています。

# 活動資料

## スタンプラリー台紙



## ミーティング



「京都府子育て環境日本一推進会議」連携  
フォトスペース

## 神輿



前日準備(テント設営)



## FM京都「CHUMMYTRAIN」出演

#京都産業大学 現代社会学部現代社会学科  
1年生の永田さん、文化学部京都文化学科1年生の松岡さん

2人はあさって#上賀茂神社で開催の賀茂水まつりでイベントを企画!  
いろいろ楽しそうなことを予定していまするようですよ〜♪

kamigamojinja.jp/202407092074/  
Translate post

## 京都府・ダイドードリンコ株式会社 ボランティアサークル NONTs運営 学生と地域のお子様との工作自販機製作



## 紙飛行機折り



## さまざまな企画 水射的



## ダブルタッチ

